

最奥の秘境と天空の湿原を見に 奥鬼怒沼～物見山

実施日 2020年9月19(土)～20日(日)

天候 19日 晴れ/20日 曇り後晴

リーダー 瀧澤 きよの

参加者 島本陳重、瀧澤きよの、峯川弘子、宮崎敏男 計4名

費用 宿泊代9,680円(入湯税150円含)
車代負担3,400円(北朝霞起算)

タイム 9/19 北朝霞(6:37)夫婦淵(10:17~30)八丁湯(12:11)日光沢温泉(12:15~13:05)丸沼分岐(15)日向オソロシ滝展望台(13:39)日光沢温泉(14:20)泊
9/20 日光沢温泉(6:55)丸沼分岐(7:10)オオソロシの滝展望台(7:45)鬼怒沼湿原南端(8:24)鬼怒沼巡視小屋(10:27)鬼怒沼山(10:34)T字路分岐(11:10)オオソロシ展望台(12:40)日光沢温泉(13:15~13:10)夫婦淵登山口(15:10~15:24)北朝霞(19:25)

9/19 北朝霞駅からSさんに運転して頂き曇り空の中高速道路を進みます。

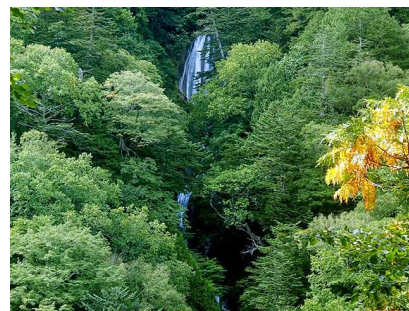
鹿沼の前から突然の雨が。通り雨でホットしました。途中、川俣温泉噴橋の上から間欠泉を見学し、青空の中女夫淵駐車場に到着。



加仁湯送迎バス到着。橋を渡りいきなりの急登階段の始まりです。下って奥鬼

怒遊歩道を歩きます。二ツ岩橋、硯の岩橋渡を渡り川沿いを歩いていると落下物ワッ!、とちの実です。栗の2倍はありここはメット必滞かも。

僅かで八丁湯到着。ここで昼食。加仁湯の裏から10分で日光沢温泉に着きました。居ました、柴犬チヤング。ここでMさん2時間後に到着なので、オロオソロシの滝迄参歩に行きますと伝えると、主人「丸沼分岐から左の日向オソロシの滝を見たら方が、いい」とお勧め。



早速、温泉の裏から階段を登り、根名草山分岐、温泉神社、吊り橋わたり15分

で丸沼分岐左へ直ぐに吊り橋樹林帯の急登つづら折りを登り、日向オソロシの展望台に到着。木々に遮られています、20m~30mの水量が多い滝です。

キノコもあり、土産に持ち帰り日光沢温泉に主人に尋ねると大丈夫との事。Mさん部屋にて待っています。



今年初めての泊り山行で、山話に花が咲き、久々の温泉露天風呂は

2ヶ所、上は透明、下乳白色、内風呂も乳白色で、スベスベ、ポカポカ6時から夕飯天然イワナの塩焼き、てんぷら、酢の物等いいですね。コロナ対策消毒液、マスク三蜜避け、温泉に入りぐっすり眠る。

9/20 5時30分起床。6時20分朝食。しっかり食べて裏の階段を登り、今日は丸沼分岐右オロオソ



ロシの滝展望台迄、残念木々でほぼ見えません。ガスが立ち込め帰りに又、

見よう。さ-今日のメイン激急登つづら折り等高線200m、階段あり、崩れあり、30mロープ設置涼しいし、温泉と久々のご馳走で足が軽い。ようやく緩くなりダラダラの登りは長くへとへとです。



鬼怒沼湿原



南端に1番に着いた時は、ガスガスの中の草紅葉はまだ早く、紅葉もこれから、

湿原の木道歩きは日光側は山々が見れますが、尾瀬側はガスで真っ白です。日光白根、燧ヶ岳も残念ながら見えません。

雨が降らない内に鬼怒沼山へ鬼怒沼巡視小屋見て、樹林帯のハイキング道を進みます。整備され、歩き安い。笹藪、倒木ピンクテープはアせて、



黄色テープはまだ新しい。鬼怒沼分岐から急登を登り山頂かと思わせ、緩く巻き山頂直下の馬の背急登。二等三角点樹林の景色のない山頂です。標識が下がっています。



写真を撮り下りは健脚揃い早いこと。湿原に戻ると登山者に会いました。

ガスガスで物見山は景色もよくないし、サッサと下ります。オロオソロシの滝展望台でオロオソロシの滝を確認。やはり朝と同じです。日光澤温泉で昼食。



ワンピッチで女夫淵登山口、駐車場から車にて北朝霞迄高速道路を走り雨に降られないで良かった。

Sさん往復の運転ありがとうございました。

コロナ対策しながら又、山行を共に歩きましょう・・・

(記&写真・瀧澤 きよの)
(写真提供・宮崎 敏男)

